

## 焼岳南峰/2455. 4m

2015. 3. 31 堀家靖弘

2009年5月10日、霞沢岳山頂より眺めた穂高連峰の雄姿をもう一度見たいと思い、焼岳南峰に登ってきました。

3月30日、名古屋12時発の『しなの号』で松本に向かう。松本駅前のコンビニで翌日の昼食・おやつを調達し、ガイドと2名の参加者と合流。17時過ぎ『中の湯温泉』に到着、車窓から見る景色はすっかり春模様である。今年は雪解けが早そうだ。

『中の湯温泉』の玄関から見る穂高連峰は真っ白に輝いている。夕食後、湯船で見上げた夜空は明日の好天を約すかの如く満天の星空だった。

31日7時、温泉の軒下でアイゼンを装着し出発。雪に埋まったR158を乗り越え、尾根筋を急登、振り返ると霞沢岳へのルート：産屋沢・無名尾根が見える。樹林帯を抜けて、りんどう平に9時30分到着。小休止中にハーネス装着と、焼岳・霞沢岳・穂高連峰をカメラに収める。9時50分、南峰南下のコルを目指し登行、気温高く無風、アイゼンが気持ち良く雪面を捉える。コルでダブルストックをピッケルとストックに換え、最後の急斜面をジグザグに登高開始。ガイドのつけたステップを忠実にたどり難関を突破、ザイルを使うことなく11時30分に焼岳南峰山頂に到着した。

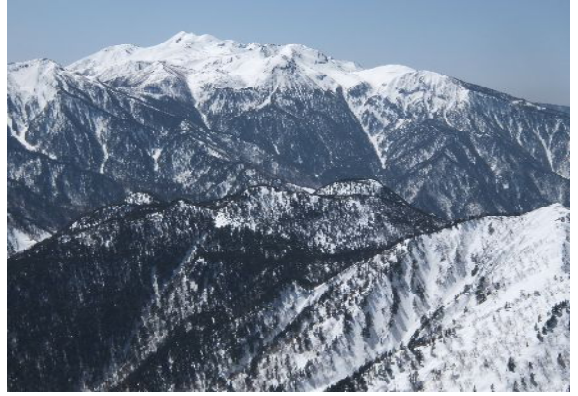
山頂は東西に広く緩やかで一等三角点は雪に埋まっていた。360度の大パノラマは雄大で神々しい。北には穂高連峰と槍ヶ岳に続く主稜線、西には笠ヶ岳・抜戸岳・三俣蓮華岳・黒部五郎岳の山々と遠く白山の山塊、南にはモンブランを思わせる乗鞍岳、東には霞沢岳から大滝山への稜線と鉢盛山・遠く南アルプスが望まれた。

昼食と写真撮影を終え、12時10分下山開始。下降は斜面に正対してフロントポイント・キックで降ります。アイゼンを雪面に蹴りこみ、ピッケルとストックで雪面を捉えながら、直線的にコルを目指し高度を下げっていきます。この急斜面では滑ると、滑落停止が困難なので緊張しました。12時30分コル着、ハーネスを外しりんどう平に下る。気温が上がり腐れ雪になる。アイゼンを外し、坪足で樹林帯・急尾根を下り、14時前『中の湯温泉』に無事下山。

入浴後、ガイドの車で松本駅へ、到着後パーティ解散。16時53分発の『しなの号』・新幹線を乗り継ぎ20時過ぎ高槻に帰着。



焼岳北峰と穂高連峰：焼岳南峰より



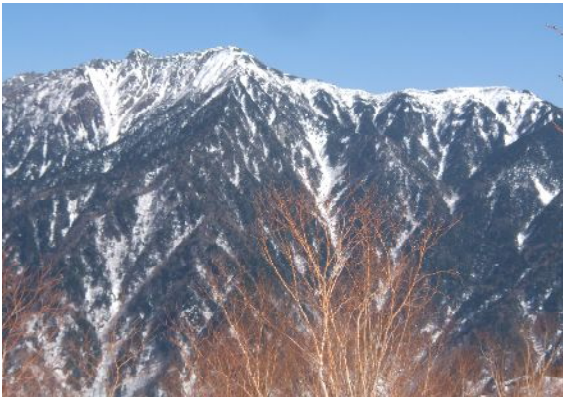
乗鞍岳：焼岳南峰より



笠ヶ岳・抜戸岳遠望：焼岳南峰より



焼岳南峰と北峰：りんどう平より



霞沢岳：りんどう平より